様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　6 年　　6 月　 30 日

宮崎県知事 殿

提出者

住　所　　宮崎県小林市細野３９１番地１

氏　名　　株式会社　坂下組
代表取締役社長　坂下利博

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0984-23-3333

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　坂下組　小林本店
事業場の所在地	宮崎県小林市細野３９１番地１
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	建設業　総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　７７億
③　従業員数	９０人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙②のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	処理計画書集計表のとおり	
	排出量_	t	t
	（これまでに実施した取組） コンテナボックスを各現場に設け、分別・仕分けを確実におこなった。 梱包材等の簡素化を図り、現場内の持ち込みを少なくした。 排出量を抑える工法を検討する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	処理計画書集計表のとおり	
	排出量_	t	t
	（今後実施する予定の取組） コンテナボックスを各現場に設け、分別・仕分けを確実におこなう。 梱包材等の簡素化を図り、現場内の持ち込みを少なくする。 排出量を抑える工法を検討する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 種類：廃プラ・木くず、繊維くず、がれき類、コンがら、アスがら、 建設混合、石膏ボード 取組：種類ごと仮置場、コンテナボックスを設けた。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 種類：前年同様 取組：種類ごと仮置場、コンテナボックスを設ける。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>処理計画書集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>処理計画書集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>処理計画書集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>処理計画書集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>処理計画書集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>処理計画書集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>処理計画書集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・分別、仕分け等を確実におこなった。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>処理計画書集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・優良認定処理業者を選び、委託する。
・委託先の処理業者を定期的に確認する。
・電子マニフェストの導入を検討する。
・再資源化を徹底する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

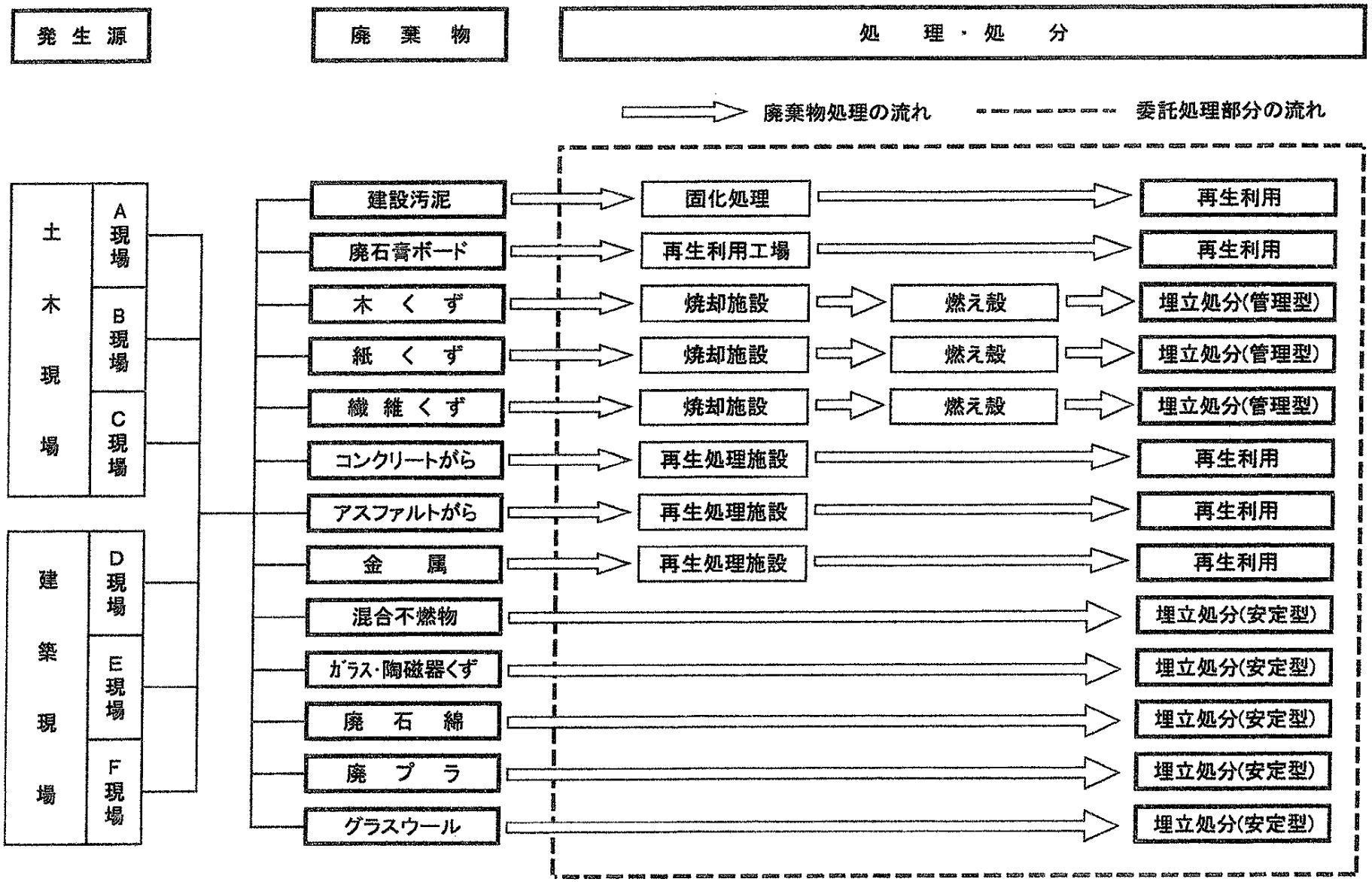
産業廃棄物処理計画書　集計表

（別紙）

単位：ｔ

産業廃棄物の種類			廃プラスチック	木くず	コンクリート殻	アスファルト殻	混合（安定型）	廃石膏ボード	金属くず	紙くず	廃石綿		合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項													
	①現状（5年度実績）	排出量	77	171	4,017	959	52	12	0	0	4		5,292
	②計画（6年度目標）	排出量	50	50	500	800	5	0	0	0	0		1,405
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
	①現状（　年度実績）	自ら再生利用を行った量											0
	②計画（　年度目標）	自ら再生利用を行う量											0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
	①現状（　年度実績）	自ら熱回収を行った量											0
		自ら中間処理により減量した量											0
	②計画（　年度目標）	自ら熱回収を行う量											0
		自ら中間処理により減量する量											0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項													
	①現状（　年度実績）	自ら埋立処分を行った量											0
	②計画（　年度目標）	自ら埋立処分を行う量											0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
	①現状（4年度実績）	全処理委託量	77	171	4,017	959	52	12	0	0	4		5,292
		内訳 優良認定処理業者へ処理を委託した量	39	20	424		16	7			4		510
		再生利用業者へ処理を委託した量			4,017	959							4,976
		認定熱回収業者へ処理を委託した量											0
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量											0
	②計画（5年度目標）	全処理委託量	50	50	500	800	5	0	0	0	0		1,405
		内訳 優良認定処理業者へ処理を委託する量	50	50	500	800	5						1,405
		再生利用業者へ処理を委託する量			500	800							1,300
		認定熱回収業者へ処理を委託する量											0
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量											0

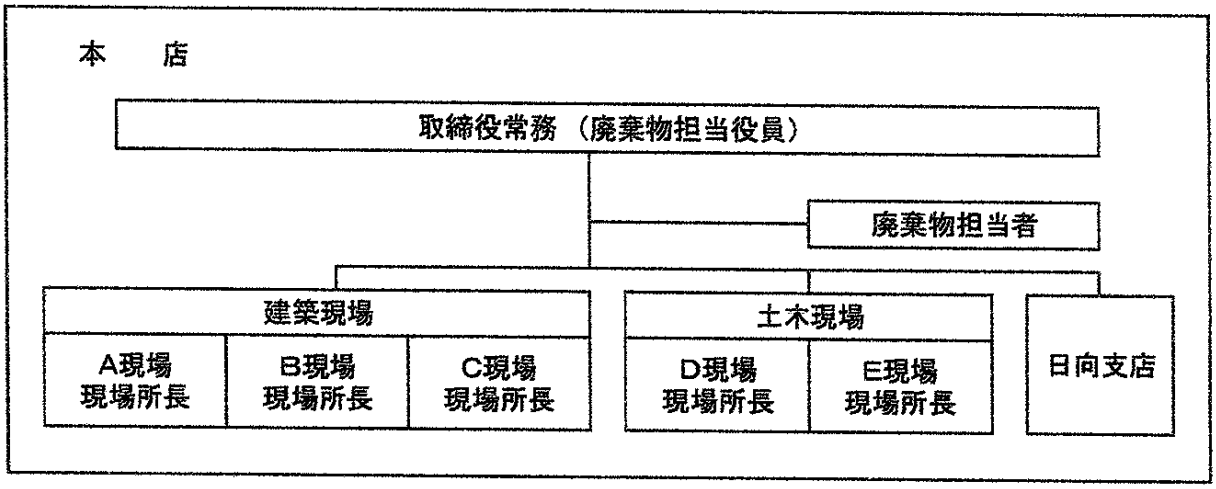
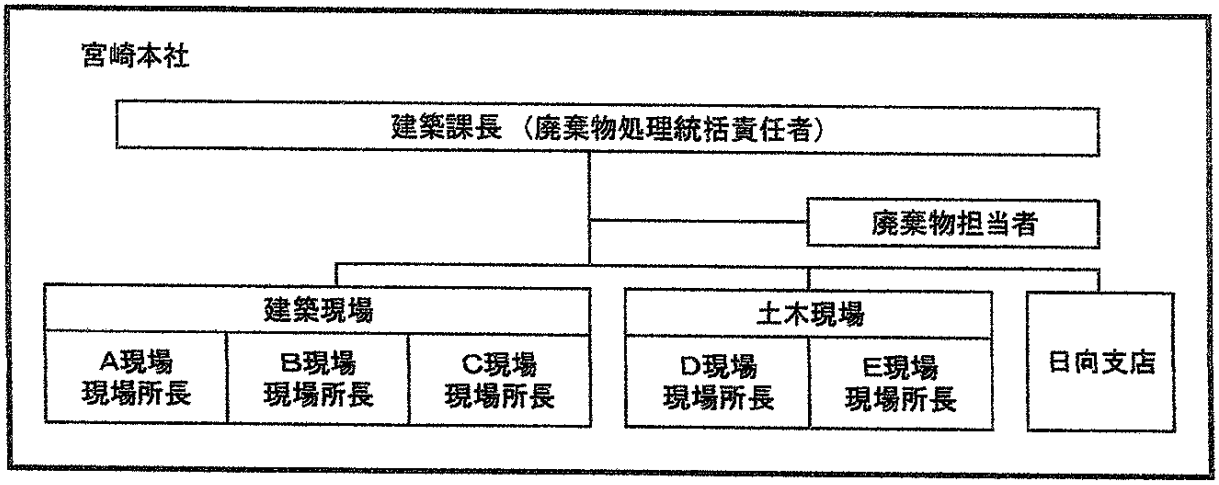
別紙①



廃棄物処理フロー図（現状）

別紙②

（1） 責任者及び管理組織図

統括責任者	所属 ： 宮崎本社　　職･氏名 ： 建築課長
廃棄物担当	職･氏名 ： 土木課長
役割	廃棄物処理に関する検討 廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理計画の作成 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 委託契約の確認 監督官庁への各種報告 その他関係する事項

廃棄物管理組織